

アウル通信



2020 4 1発行第 192号

『96歳の婦長さん』

わたしが、特別養護老人ホームの寮父時代にお世話になった看護師（当時は婦長）さんがいます。当時は、看護と介護の間で、お互いの正しさばかり主張して、なかなか折り合いがつかないことだらけで、ことある毎に衝突していました。衝突の要因は、それぞれの持つ専門性の主張でした。

しかし、話し合いの繰り返しの結果、次第に焦点を自分たちの専門性の主張ではなく、お爺さんお婆さんにとって何がベストなのか目的に、それぞれの専門性をどう發揮していくかに焦点を当てて話をしてゆくと、お互いの実際の看護や介護がうまくかみ合うように変わっていきました。その方にとって、とてもいい感じになっていったのを覚えています。

その基本となったのが、どこに焦点を合わせるかでした。人はそれを目標、目的、到達点、目指す方向、理念などなど様々に表現されますが、その本質は、今日の前にいる方の“生きる幸せ”にどう応じるかだと思いました。そしてお互いの仕事の目的を共有することで、互いの人格を尊重する関係へと繋がっていました。

その婦長さんは、今現在、96歳で現役の看護師さんとして、デイサービスセンターで利用者様の健康をチェックするなどの仕事をしています。凄いです。僕は尊敬を通り越して、神様だと思っています。

わたしの「人」としてのお手本は婦長さんです。

わたしたちは、パズルのピースのひとつです。それぞれがそれぞれの場所で輝くように生きることではないでしょうか。わたしたちの前にはいろんな壁が立ちはだかります。でもどの壁も「お互いに補い合うことで乗り越えられる壁」ばかりです。きっとわたしたちは、この壁に立ち向かえられるように、バラバラな形をしているのだと思います。お互いの穴や凹みを補えるように。

感謝

アウル 宮崎直人

お知らせ

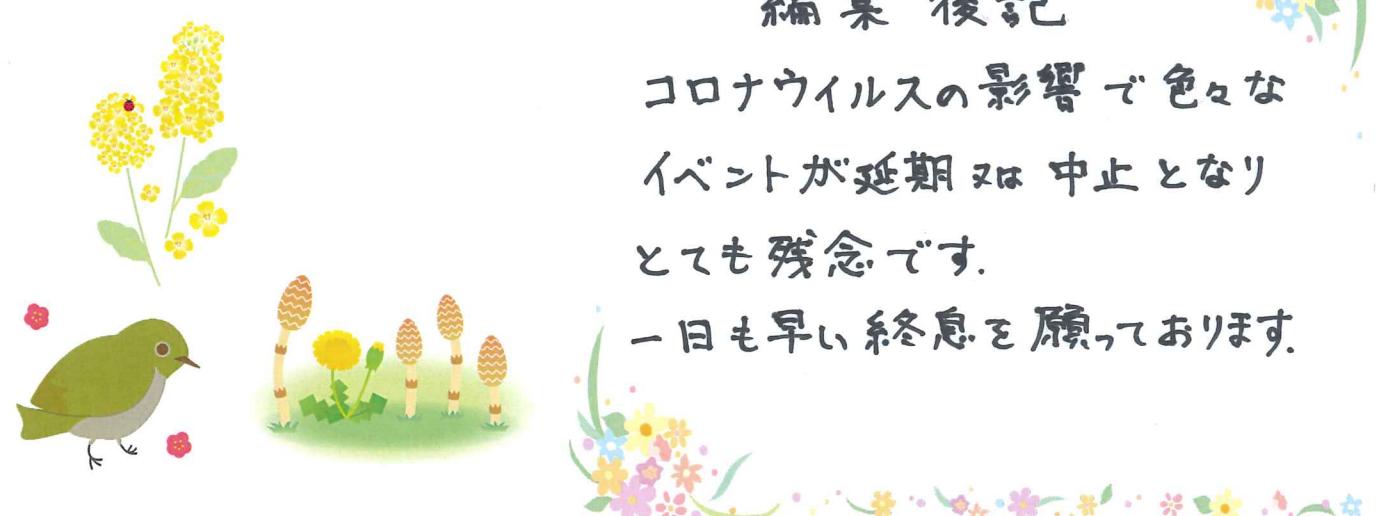
現在、グループホームアウル 登別館では、コロナウイルスに伴い、面会を制限させて頂いております。
インターネットのアウルのホームページの生活ブログにて日常の生活の様子を見ることができますのでどうぞご覧下さい。



編集後記

コロナウイルスの影響で色々なイベントが延期又は中止となりとても残念です。

一日も早い終息を願っております。



今月の出来事

- ・お誕生日会
- ・ひなまつり

入居のご相談について

ご家族が「もしかしたら認知症かも？」
グループホームに入居したい
グループホームを見てみたい、などなど
気軽にご相談、ご見学ください。
また、今入居されている方のご家族の皆様も
生活の相談等、気軽に声をかけて下さい。

担当窓口 宮崎

発行責任者 宮崎直人



あおむの



ひなわ

いえーい



美味しい

